



2020年から続いた新型コロナウイルスによる世界的な混乱が収束しつつある一方で、ロシアによるウクライナ侵攻という予期せぬ事態が発生し、別の形での混乱が長期化しつつあります。この数年間、コロナ禍により生活に密着した問題が多く生じたことや、地域や国に根差した問題、地球規模での課題にどのように対処するか、など私たちの世界が抱える様々な社会課題に意識が向けられることとなっただけでなく、早急な行動が求められるようになってきました。

例えば、コロナ禍においては、中・低所得国へのワクチン配布に関する課題が注目されました。当社も参加する医薬品配布に関するイニシアチブでは、投資先企業に対する継続的なエンゲージメントの結果、これらの国々に対するワクチン配布に関して一定の成果が見られました。改めて、投資先企業へのエンゲージメントを行うことの重要性を認識することができました。

しかし、地政学的なリスクの発生に伴うエネルギー価格の高騰は、私たちに「化石燃料への依存をどうするのか」「持続可能な社会の構築をどのように達成するのか」という問題を改めて提起することになりました。これは、中長期的

に化石燃料への高い依存度をいかに引き下げるのか、と問われていると考えています。温室効果ガスの排出による深刻な気候変動を食い止めるには、さらなる再生可能エネルギーへの移行(トランジション)が求められます。そして、この長期的な化石燃料依存の低減のために、今後も様々なステークホルダーによる取組みが進められると予想されます。当社は「責任ある投資家」として、新規の再生可能エネルギー設備の建設などのトランジション債^{*1}等を通じた資金面での貢献や、SBT^{*2}取得による投資先企業によるネットゼロ達成に向けた動きを建設的な対話「エンゲージメント」を通じてサポートし、地球規模の課題である気候変動問題の解決を追求します。そして、資産運用ビジネスを通じた「社会的価値」と「経済的価値」の両立を実現します。

こうした価値を実現するためには、ESGに関連した規制を正しく理解することも非常に大切です。欧州のサステナビリティに関する規制は、世界をリードしています。お客様に最良のESGプロダクトを提供するためには、世界のESG規制動向を注視し、そのレベルに合わせる必要があります。当社は、英国に運用拠点を持つだけでなく、英国スチュワード

CEO Message

「世の中の役に立つ資産運用会社」 であるために

CEO兼代表取締役社長

小池 広靖

皆さまにお伝えしたいこと

「責任ある投資家」として、
グローバル、国、地域が抱える
社会課題の解決を追求します

資産運用ビジネスを通じて
「社会的価値」と「経済的価値」の
両立を実現します

投資の好循環による
「持続可能な豊かな社会の実現」
を目指します

シップ・コードにおいてFRC^{※3}より認定された日系運用会社
となっています。また、実際に「インパクトファンド」を英国拠点
で運用し、欧州のお客様だけでなく、日本のお客様にも
ESGプロダクトとして提供しています。このように世界レ
ベルの基準に対応している知見を当社内で共有することで、厳
しい基準に準拠したESGプロダクトの提供が可能となっ
ています。

一方、地球規模で取り組むべき課題だけではなく、私たち
の生活にも結び付きの強い健康、人権問題などSDGsが掲
げる社会課題解決のための行動を、当社は「責任ある投資
家」として求められています。こうした社会課題の解決のた
めに軸となる考えが、インベストメント・チェーン(投資の好
循環)です。そこでは、「資産運用会社」が投資によって「投
資家」と「企業」を結び付けることにより、「持続可能な豊
かな社会の実現」を目指します。経済的利益を創出する企業
は、「持続可能な豊かな社会」への貢献が十分に可能です。
これが当社の軸としているインベストメント・チェーンの考
え方です。そして、様々な社会課題を解決するためには、持
続的な投資の好循環の創出が必要です。この好循環を支える

ためには、資産運用会社と投資先企業との建設的な対話
「エンゲージメント」が欠かせません。こうした対話をベース
に当社が求める「望ましい経営」の実現、企業価値向上のサ
ポートや企業のESG・SDGsへの取組みを後押ししたいと
考えています。

90年以上前、野村グループが誕生したときの創業理念
の一つに「証券報国」というものがあります。この理念は、よ
り豊かな社会の実現に向けた野村の揺るぎない姿勢を示し
ており、今日、社会課題の解決を通じて持続的な成長を実
現するという当社の姿勢にも受け継がれています。そして、
お客様をはじめとした全てのステークホルダーの皆さまが
置かれた状況や社会課題への取り組み方が劇的に変化する
中で、当社は「責任ある機関投資家」としてだけではなく、
「世の中に役立つ運用会社」として私たち自身も変化を恐れ
ず、また最良のESGプロダクトを提供し、企業価値向上と
持続可能な社会の構築という道を歩み続けます。

※1 「移行債」とも呼ばれ、脱炭素への段階的な移行をサポートする目的のための債券

※2 科学的根拠に基づいたGHG(温室効果ガス)排出量削減目標値

※3 Financial Reporting Council:

英国財務報告評議会、英国のステューワード・シップコードの認定機関